

平成 27 年日本熱物性学会第 2 回 (2015-2) 役員会議事録

日時: 平成 27 年 4 月 18 日(土) 役員会 14:03~15:55

場所: 芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者: (五十音順・敬称略)

荒木貞夫(関西大学)	遠藤亮(東レリサーチセンター)
小口幸成(鷗友学園)	小田究(名古屋市工業研究所)
小畑良洋(鳥取大学)	小原拓(東北大学)
小宮敦樹(東北大学)	迫田直也(九州大学)
佐藤真奈美(大阪工業大学)	佐藤譲(東北大学)
柴田浩幸(東北大学)	新里寛英(九州大学)
田中勝之(日本大学)	竹田修(東北大学)
手嶋康介(京都電子工業)	長坂雄次(慶應義塾大学)
福山博之(東北大学)	堀部明彦(岡山大)
牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)	水野章敏(学習院大学)
宮崎康次(九州工業大学)	桃木悟(長崎大学) (Skype 参加)
山田修史(産総研)	山田純(芝浦工業大学)
山田雅彦(北海道大学)	

審議事項:

佐藤会長より挨拶があり, 配布資料の確認が行われた。

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号: 15-2-1-役

小宮評議員より, 資料 15-2-1-役, に基づき前回議事録の確認があり, 一部修正をすることで了承された。

(2) 役員名簿確認……………資料番号: 15-2-2

佐藤会長より, 資料 15-2-2 に基づき, 役員名簿の確認があった。電話番号の変更が 2 名, 産総研の改組により所属機関の変更が 2 名あり, これを修正した。

(3) 第 36 回日本熱物性シンポジウムについて……………資料番号: 15-2-3

柴田第 36 回シンポジウム担当より, 第 36 回シンポジウムの準備状況について報告がなされた。日程, 会場の説明, 予算案, 第 2 回会告案, スケジュール, 配布物, 予稿集テンプレート等について説明があった。学生ベストプレゼンテーション賞について, 応募希望者には早めに入会手続きをすること, また入会費と参加費が異なることを明記するとの報告があった。配布物については, Web での公開の他, CD-ROM を配布し, USB は配布しない旨の連絡があった。振込用紙は 5 月号に挟み込むとの報告があった。

## (4) 第 37 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号: 15-2-4

堀部編集担当より、第 37 回シンポジウムの準備状況について報告があった。日程が確定し、2016 年 11 月 28～30 日で行い、会場は岡山国際交流センターを予約済とのこと。実行委員会側で考えている検討事項が提示された。

## (5) 各種委員会報告……………資料番号: 15-2-5-1~4

編集委員会

堀部編集担当より、資料 15-2-5-1 に基づいて、2015 年 5 月号 (Vol. 29, No. 2 (2015)) の目次案について報告があった。論文に関して投稿数が減っている現状が紹介され、その対策について説明があった。「めるていんぐぼいんと」「さーもふいじすと」についても現況報告があった。研究分科会の原稿については各分科会の代表者に連絡し、寄稿の了承が得られた旨の報告がなされた。

表彰委員会

佐藤表彰委員会委員長より、資料 15-2-5-2 に基づいて、2015 年度学会賞の候補募集についての説明があった。昨年度同様、学会賞候補を募集する旨が報告された。応募締切は 2015 年 7 月 31 日(金)で、是非とも積極的な応募をお願いしたいとの依頼があった。ここで、「貢献賞」「功労賞」の 2 つの賞について紹介があり、内規改正の報告があった。また、日本学術振興会から「日本学術振興会賞」の推薦依頼があり、1 名の推薦をする旨の報告があった。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性情報担当より、資料 15-2-5-3 に基づいて、シンポジウム講演論文集等データベースの整備に関する活動報告があった。また、2015 年度の活動計画の報告がなされた。

広報委員会

宮崎広報担当より、資料 15-2-5-4 に基づいて活動報告があった。HP の整備、メーリングリストの運用についての活動報告がなされた。名誉員の逝去に伴う HP 上の名簿への対応依頼があった。

活動委員会

桃木企画担当より、Skype を経由して活動報告があった。活動目標通り、BPA に関する活動、特に BPA 応募者の入会勧誘を進めている報告があった。BPA の審査員を委員会側から役員会構成員に依頼するので協力してほしいとの依頼があった。佐藤会長より、補足として会員登録を調べる体制の説明があった。

## (6) 研究分科会報告……………資料番号: 15-2-6

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

佐藤会長より、資料 15-2-6(1)に基づいて、活動計画について報告があった。

複雑な系における水の特異な熱・輸送特性に関する研究会

佐藤会長より、資料 15-2-6(2)に基づいて、活動計画について報告があった。第 36 回日本熱物性シンポジウム前日の講演会の開催日時について修正があった。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

宮崎広報担当理事および山田東京連絡事務担当理事より、資料 15-2-6(3)に基づいて、活動計画が報告された。2014 年 8 月、2015 年 1 月に勉強会を開催した旨が報告された。

(7)法人化準備金の ATPC 等国際会議準備金への変更について……………資料番号:15-2-7

長坂国際連絡事務担当より、資料 15-2-7 に基づいて、法人化準備金を ATPC 等国際会議準備金に変更する提案について詳細説明があった。資金管理を行う監事を学会側から ATPC2016 の実行委員に加え、かつ内規を制定する旨の説明があった。名称を「法人化準備金および ATPC 等国際会議準備金」に変更し、また、国際会議準備金としてのみに使用するのではなく、法人化も見据えた資金としての位置づけを維持する説明がなされ、運用については今後検討を続けていくこととなった。熱物性学会としては、国際会議等に主催として関係した方がよいとの意見が出された。

(8)事務局報告……………資料番号:15-2-8-1~5

小原事務局担当副会長より、資料 15-2-8-1~5 に基づいて、協賛、会員異動、鷗友預り金、J-STAGE lite 案内、日本学術振興会育志会について報告がなされた。名誉員の逝去に関して、会誌の編集後記に黒枠掲載するかどうかの伺いが編集担当よりあり、掲載した方がよいとの回答があった。これに対し、ご遺族に確認をした方がよいのではとの質問が出され、今後は会員異動に関しては、内規等で明記していく必要があるとの意見が出され、次回の総会で諮ることとした。

(9)その他

- ・ 佐藤会長より、「断熱材の熱物性計測と評価」研究会の設置について申請があり、これを了承した旨の報告があった。

以上